



# Insight and Information

## 積層焼結技術

写真は、ニチダイフィルタが保有する真空焼結炉です。複数枚のステンレス金網を真空焼結炉に積み込み、金属を融点前後の温度で一定保持させます。このプロセスで生じる原子拡散接合現象を利用することで、複数枚の金網が一体構造化したフィルタ製品が製作されます。

## Contents

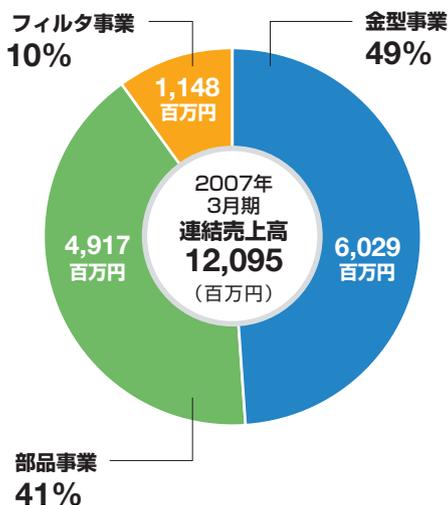
事業紹介 .....	2
株主の皆さまへ .....	4
特集：焼結技術を基盤に事業展開。 タイに合併会社を設立。 .....	7
決算ハイライト .....	8
各事業の実績 (2007年3月期) .....	9
TOPICS .....	10
株主様アンケート結果 .....	11
主要連結財務諸表 .....	12
会社概要／株式情報 .....	14

証券コード6467

**株式会社 ニチダイ**  
NICHIDAI CORPORATION

# ニチダイグループは「他社の追従を許さない高い技術力」をコアに、3つの事業を展開しています。

おもに、自動車部品の生産に使用される精密鍛造金型を供給する「金型事業」。部品アッセンブリと精密鍛造品の量産を行う「部品事業」。あらゆる産業で用いられる高機能フィルタの開発・生産を担う「フィルタ事業」。ニチダイグループは独自の技術開発力をコアに、これら3つの事業を展開しています。



事業の特長についてはホームページ「What's NICHIDAI～ニチダイのすべてがわかる～」をご覧ください。



<http://www.nichidai.jp/whats/index.html>

## ニチダイの強み・市場背景

### Forging Die Business

## 金型事業

製造プロセスを革新する加工法で

金属を常温で、削ることなく、1回で複雑な部品形状に成形できる理想の加工法「ネットシェイプ」。

生産性を大幅に向上させるこの加工法は、自動車部品などの大量生産で活躍しています。

### ●トータルエンジニアリングの提供で顧客ニーズに対応

ニチダイでは、精密鍛造金型の生産のみならず、研究開発から設計・試作、鍛造ラインの提供、部品製造まで手がけており、精密鍛造領域に関わるトータルエンジニアリングの提供が可能です。



### Components Business

## 部品事業

アッセンブリと精密鍛造品生産の両軸で

ディーゼルエンジン用VGターボチャージャー部品の組み立て(アッセンブリ)と、精密鍛造品の生産という両軸で事業を展開しています。

### ●世界的な自動車環境規制強化を追い風に

世界的に自動車の環境規制が高まっているなか、販売される乗用車の約半数がディーゼルエンジン車である欧州を中心に、環境負荷物質削減に貢献するVGターボチャージャーの需要が高まっています。

日欧のディーゼルエンジン排ガス規制 (単位: g/km)

項目	日本			欧州		
	2003年~ 新短期規制	2005年~ 新長期規制	2009年~ ポスト新長期規制	2000年~ Euro3	2005年~ Euro4	2008年~ Euro5
粒子状物質 (PM)	0.052	0.013	0.005	0.05	0.025	0.005
窒素酸化物 (Nox)	0.28	0.14	0.08	0.50	0.25	0.20

### Filter Business

## フィルタ事業

高機能フィルタを多様な産業に供給

液体やガス、オイルなどをろ過するために不可欠な産業用フィルタ。独自の積層焼結技術により、多くの産業用フィルタを開発・生産しており、幅広い分野で活用されています。

### ●独自の積層焼結技術が生み出すフィルタ群

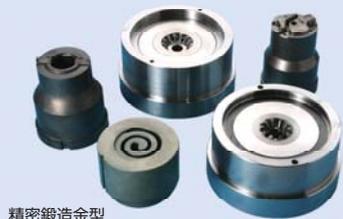
ニチダイフィルタが生産する積層焼結金網フィルタは、独自の積層焼結技術を駆使し、複数枚のステンレス金網を交錯させることで、繊維均一な理想的ろ過構造を形成し、幅広い産業分野に利用されています。



## 製品の特長

### ● 高精度でロスの少ない部品生産を実現

ネットシェイプ加工は、切削加工や熱を加えた鍛造と比べ以下のような特長があり、特に自動車部品の生産に適しています。



精密鍛造金型

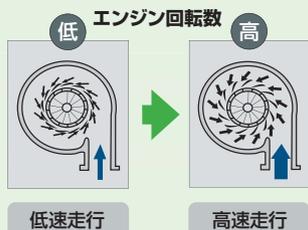
- ① 削らないため材料ロスが少ない
- ② 高精度な部品成形
- ③ 生産のスピードアップを実現
- ④ 高強度な部品成形が可能

### ● 環境負荷物質の排出を抑制する独自の構造

VGターボチャージャーは、エンジンの回転数に合わせて空気量を制御する部品で、粒子状物質 (PM) や窒素酸化物 (NOx) など環境負荷物質の排出を抑制します。



VGターボチャージャー部品



### ● 一体構造化により耐久性に優れた特長を発揮

ニチダイフィルタが生産するフィルタは、何枚ものステンレス金網を一体構造化しています。0.3~200ミクロンという幅広い過精度に対応するとともに、機械的強度、耐蝕性、耐熱・耐寒性、加工性などに優れた特性を発揮します。また洗浄することで何度も再利用することができる特長もっています。



フィルタ断面図



オイルろ過用フィルタ



ガスろ過用フィルタ



ポリマーろ過用フィルタ

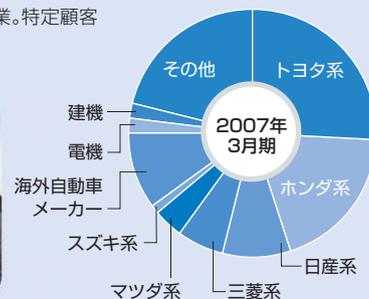
## ユーザー

### ● 自動車部品メーカーに幅広く供給

顧客の約80%は自動車関連企業。特定顧客に依存せず、多くの国内メーカーの系列部品企業と取引しています。



### 顧客別売上高構成比



### ● 欧州向けディーゼルエンジン車に搭載

VGターボチャージャー部品は、メーカー納入後、主に欧州向け乗用車のディーゼルエンジンに搭載されます。また精密鍛造部品の生産では、おもに国内外の自動車部品メーカーに供給しています。



### ● 基幹産業から先端産業分野まで幅広く供給

石油化学、ガス、原子力などのエネルギー分野、プラスチックなどの化学分野、繊維分野、医薬品・食品分野の他、宇宙ロケットにも採用されるなど、さまざまな産業で活用されています。最近では 液晶用フィルム生産に用いられる高機能樹脂 (ポリマー) 用フィルタの伸びが顕著になっています。



液晶工場



飲料生産ライン



石油化学



ロケット

© JAXA

# 部品事業・フィルタ事業が伸長し、連結ベースで過去最高の売上を達成。 次のステップに向けた経営戦略を推進していきます。



代表取締役社長 **古屋 元伸**  
(ふるや もとのぶ)

株主の皆さまにおかれましては、ますますご健勝のことと存じます。当期の業績につきまして、ご質問にお答えする形で概要を説明させていただきます。

株主の皆さまからのご質問にお答えします

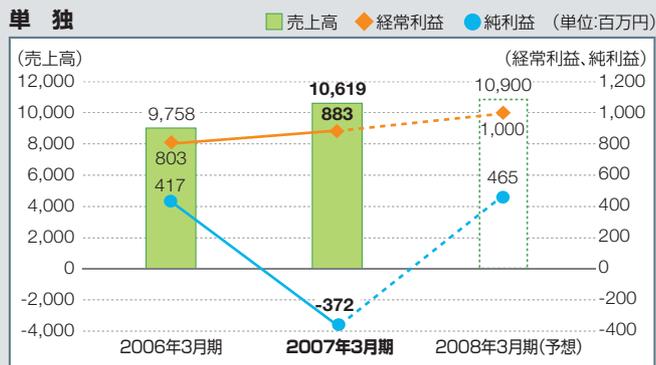
**Q** 当期の業績と配当について教えてください。

**A** 連結売上高は120億9千5百万円(前期比12.0%増)、連結経常利益は10億4千6百万円(前期比30.4%増)となり、増収増益を達成することができました。

単独業績においては、NICHIDAI AMERICA CORPORATION(以下、NAC)の子会社株式評価損を計上したため、3億7千2百万円の当期損失となりました。NACでは日系部品メーカー向けの増収が期待できるものの次年度からの急激な業績拡大は困難であり、累損一掃が難しいことから8億2千7百万円の評価損を計上したものです。(次頁下欄参照)

なお、この子会社株式評価損は連結決算には影響せず、部品事業が計画以上の売上を達成したこともあり連結当期純利益は5億4千3百万円(前期比47.2%増)と大幅な増加となりました。配当に関しても連結業績から予定どおり期末10円とし、中間時の10円と合わせて年間20円(内、創立40周年記念配当5円を含む)とさせていただきます。

## 期末実績及び来期(2008年3月期)予想



## Q 各事業の概況について教えてください。

**A** 金型事業では、国内自動車メーカーが海外への設備投資を優先したことなどから、国内では中部地区を中心に新規部品の動きが鈍化しました。海外ではアジア地域における現地メーカー向けが好調でしたが、国内需要の低迷を受けて、金型事業全体の売上高は、前年度からわずかながら減少しました。

部品事業では、VGターボチャージャー部品の機種増加もあり、計画を大幅に上回る売上高を達成しました。また、生産管理や品質管理を強化した結果、利益面でも大きく伸長し、過去最高の業績を達成しました。

フィルタ事業でも、液晶テレビ・携帯電話などに使用される高機能フィルム生産設備向けフィルタが大きく伸張したことや、アジア向けの売上が増加したことから好調に推移し、部品事業同様、過去最高の収益となりました。

こうした結果、事業別の売上構成はさらに大きく変化し、部品事業の売上高構成比が40%を超えるまで伸びています。

## Q 今後の経営戦略について教えてください。

**A** 主要な課題として、「各事業におけるグローバル展開の推進」と「技術革新への対応」があります。

当社と関連の深い国内自動車産業では、海外生産台数が増加し、グローバルな生産体制への移行が続くものと考えられます。当社グループも、すべての事業におけるグローバル展開の推進を経営戦略の重要な柱と考えています。

そのため金型事業では、北米拠点のNACで日系メーカーへの対応を強化すると同時に、アジア地域での営業を強化していきます。

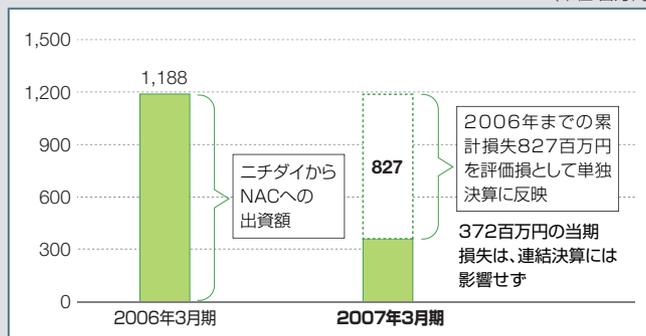
部品事業では、VGターボチャージャー部品の生産が将来的にさらに増加することが予想されるため、海外を含めた新たな生産体制の構築を検討していく予定です。

フィルタ事業では、原油高を背景に石油掘削用フィルタの需要が



### 子会社株式評価損について

(単位:百万円)



2001年に設立した米国子会社NACは、当社グループのグローバル展開における戦略的拠点と位置付けています。NACでは2007年度から受注が見込まれる現地日系メーカー向け量産に対応すべく、当社が受注した国内金型のOEM生産による技術習熟を進めましたが、国内金型需要の低迷等から下半期以降の生産量が減少しました。OEM生産<sup>\*</sup>を中止したことから2007年度計画の見直しを行い、2009年12月までの累損一掃が困難な状況であると判断し、評価損を計上したものです。

<sup>\*</sup>OEM生産:ニチダイで受注したリポート品をNACで生産したものと

## 経営課題

## 1. 各事業におけるグローバル展開の推進

- 背景 ● 日系自動車メーカー及び自動車部品メーカーの海外展開の推進  
● 顧客からの製造拠点の海外進出要請の高まり

## 2. 技術革新への対応

- 背景 ● 環境関連技術を初めとした、自動車メーカーの研究開発の推進

高まっており、これに対応して2007年2月にタイに設立した合併会社の生産立ち上げを当面の課題としています。(7頁に詳細を掲載しました)

次に「技術革新への対応」ですが、とりわけ自動車産業で活発化している環境問題に関連した研究開発に注目しています。

例えば、環境負荷が低いクリーンディーゼルへの期待が高まっていますが、当社グループでは同分野に関連して、エンジン部品用金型の生産、VGターボチャージャー部品の組立、排ガスフィルタの開発など全ての事業に関連してビジネスチャンスと捉え、積極的に取り組んでいます。

今後も、こうした環境関連技術を初めとした先進技術動向を注視し、対応を図りながら事業成長に結び付けていきたいと考えています。

**Q** 次期の見通しを教えてください。

**A** 次期の業績として、連結売上高125億円、連結経常利益10億8千万円を予想しております。また配当施策については、中間8円と期末8円を合わせて年間16円を予定しています。

当社グループは事業構造が大きく変化するなか、成長戦略の実現のために、海外展開の推進ならびに研究開発力強化のために積極的に資源を投入していく考えです。

株主の皆さまにおかれましては、一層のご指導、ご鞭撻を賜り、当社グループの今後の発展にご期待いただきますようお願い申し上げます。

2007年 6月

代表取締役社長 古屋 元伸

## 期末実績および期末業績予想

(単位:百万円)

	2006年3月期 実績	2007年3月期		2008年3月期		
		実績	伸び率	予想	伸び率	
<b>単独</b>	<b>ニチダイ</b>					
	売上高	9,758	<b>10,619</b>	8.8%	10,900	2.6%
	経常利益	803	<b>883</b>	10.0%	1,000	13.2%
	当期純利益	417	<b>△372</b>	-	465	-
<b>連結子会社</b>	<b>ニチダイフィルタ</b>					
	売上高	914	<b>1,148</b>	25.6%	1,200	4.5%
	経常利益	119	<b>179</b>	50.5%	180	0.3%
	<b>ニチダイアメリカ</b>					
売上高	498	<b>622</b>	24.9%	600	<b>△3.5%</b>	
経常利益	<b>△92</b>	<b>△64</b>	-	<b>△100</b>	-	
<b>連結</b>	売上高	10,795	<b>12,095</b>	12.0%	12,500	3.3%
	売上総利益	2,498	<b>2,808</b>	12.4%	2,956	5.3%
	販売管理費	1,612	<b>1,669</b>	3.5%	1,776	6.4%
	営業利益	885	<b>1,139</b>	28.7%	1,180	3.6%
	営業外損益	<b>△82</b>	<b>△92</b>	-	<b>△100</b>	-
	経常利益	802	<b>1,046</b>	30.4%	1,080	3.2%
	当期純利益	369	<b>543</b>	47.2%	570	5.0%

\* 百万円未満は切り捨て。

## 部門別売上高の状況

(単位:百万円)

	2006年3月期 実績	2007年3月期		2008年3月期		
		実績	伸び率	予想	伸び率	
<b>金型</b>	国内	5,353	<b>4,861</b>	<b>△9.2%</b>	5,000	2.8%
	海外	759	<b>840</b>	10.6%	900	7.1%
	ニチダイアメリカ	498	<b>622</b>	24.9%	600	<b>△3.5%</b>
	(連結消去)	(375)	<b>(295)</b>	<b>(△21.5%)</b>	(200)	<b>(△32.2%)</b>
	合計	6,235	<b>6,029</b>	<b>△3.3%</b>	6,300	4.5%
(うち商品)	(190)	<b>(143)</b>	<b>(△24.4%)</b>	(100)	<b>(△30.5%)</b>	
<b>部品</b>	3,645	<b>4,917</b>	34.9%	5,000	1.7%	
<b>フィルタ</b>	914	<b>1,148</b>	25.6%	1,200	4.5%	
<b>連結</b>	10,795	<b>12,095</b>	12.0%	12,500	3.3%	

\* 百万円未満は切り捨て。

## 特集 躍進するフィルタ事業について担当役員が語る

# 焼結技術を基盤に事業展開。 タイに合併会社を設立。



ニチダイフィルタ株式会社  
代表取締役社長

平岩 益夫

## デジタル家電用途で事業を拡大中

フィルタ事業は、金型生産工程で使用する熱処理炉を利用した研究開発により確立した焼結技術を基盤として、1974年から(株)ニチダイにおいて事業化され、2004年にニチダイフィルタ(株)(以下、NFC)として分社化されました。

当社が生産するフィルタは、ステンレス金網を複数枚重ね合わせ、焼結して製品化する金属フィルタです。食品や石油化学、医薬品など各種産業で、液体やガス、オイルなどをろ過する用途で用いられます。紙や繊維製のフィルタと異なり、再利用でき、耐久性、耐熱性に優れていることが大きな特徴です。

国内販売がメインですが、最近は薄型テレビや携帯電話などに用いられる高機能樹脂フィルムの生産用途向けが好調で、当期業績は売上・利益とも大きく伸ばしました。

近年では焼結加工技術をベースにフィルタ用途にとどまらない製品を開発しており、課題である生産増強と同時に、新たな市場開拓も進めています。

## THAI SINTERED MESH CO., LTD.のスキーム



## THAI SINTERED MESH CO., LTD.の概要

代表者	平岩 益夫 (ニチダイ取締役兼ニチダイフィルタ社長)
所在地	タイ王国ランブーン県
資本金	3,000万バーツ(2007年3月31日現在) (2007年12月までに9,000万バーツの払込み完了予定)
株主構成	(株)ニチダイ 51% 関西金網(株) 49%
設立年月日	2007年2月27日

\* 2007年5月に工場建築を開始、2007年10月に操業を開始予定。  
売上高は、操業開始後、年間約4億円の見込み。

## 世界展開を図る拠点として合併会社設立

NFCでは、2007年2月、合併会社「THAI SINTERED MESH CO., LTD.」を設立しました。

海外メジャーの油田開発が活発化している中で、石油掘削用フィルタの需要が急増していることに対応したものです。生産開始は10月を予定していますが、生産移管することで、国内需要の増大にも対応していきます。

新会社は、フィルタ原材料(ステンレス金網)の供給元であり、主要顧客でもある関西金網(株)と共同で設立したもので、同社がタイで生産子会社を運営していることから、素材供給元近隣での合併会社設立に至ったものです。

現在、生産立ち上げに向けて準備中ですが、単なる加工拠点ではなく、海外戦略の一翼を担う重要な拠点として育成していく考えです。今後のNFCにご注目ください。

# 決算ハイライト

## 売上高

(単位:百万円)



## 経常利益

(単位:百万円)



## 当期純利益

(単位:百万円)



## 1株当たり当期純利益

(単位:円)



## 純資産額

(単位:百万円)



## 1株当たり配当金

(単位:円)



\* 当連結会計年度より、「貸借対照表の純資産の部の表示に関する会計基準」(企業会計基準第5号平成17年12月9日)及び「貸借対照表の純資産の部の表示に関する会計基準等の適用指針」(企業会計基準適用指針第8号 平成17年12月9日)を適用しております。

\* 2007年3月期は中間、期末とも普通配当金7.5円、記念配当金2.5円、合計10円。

## 各事業の実績

### 金型事業



国内では、新規金型需要の低迷が続き前年度を下回りましたが、海外では好調な中国、韓国などを中心としたアジア地域で、現地部品メーカー向けが増加しました。

この結果、金型事業の売上高は60億2千9百万円(前年度比3.3%減)となりました。

金型事業売上高推移(連結)

(単位:百万円)



### 部品事業



VGターボチャージャー部品において、上期に比べ下期は減少するものと計画していましたが、機種増加などにより上期、下期とも計画以上の受注となりました。

この結果、部品事業の売上高は49億1千7百万円(前年度比34.9%増)となり、営業利益も大幅に向上しました。

部品事業売上高推移(連結)

(単位:百万円)



### フィルタ事業



液晶テレビ、携帯電話などに使用される高性能フィルム生産設備向けの増加や、アジア地域を中心とした海外向けが増加したことから好調に推移しました。

この結果、フィルタ事業の売上高は11億4千8百万円(前年度比25.6%増)となりました。

フィルタ事業売上高推移(連結)

(単位:百万円)



## 「関西ノムラ資産管理フェア2007」に出展 個人投資家の皆さまに当社の強みをアピールしました。



### ネットシェイプのしくみ



当社は2007年2月16日～17日、関西最大級の個人投資家向けイベントである「関西ノムラ資産管理フェア2007」に出展しました。京セラドーム(大阪市)で行われたこのイベントには、約120社の上場企業が出展し、堺屋太一氏ほか著名人による講演も行われました。

当社ブースでは、金型や鍛造品などの成形品のほか、パネルを用いた展示を行い、当社の強みであるネットシェイプ技術についての技術特長と優位性をアピールしました。当社は今後も投資家の皆さまに技術と事業を紹介するこのような機会を増やし、企業価値の訴求に努めていきたいと考えています。



ブースの様子



社員によるプレゼンテーション



フィルタ及びスクロール部品

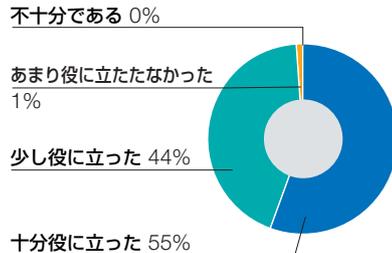
### 展示の一部をご紹介します

ネットシェイプの技術特長を説明するパネルを展示。熱を加えず、切削することなく複雑な形状の部品をスピーディに成形できる加工技術は、省資源・省エネにも貢献します。

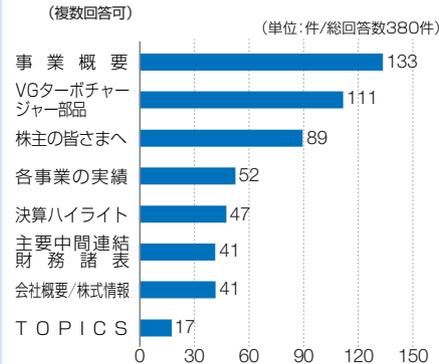
# 株主様アンケート結果

株主通信vol.10において実施させていただきました株主様へのアンケート結果をご報告します。皆様からの貴重なご意見は、今後のIR活動の参考とさせていただきます。ありがとうございました。

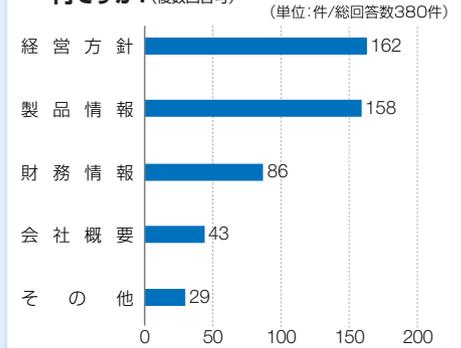
## 1 今回の株主通信は、当社をご理解いただくうえで役に立ちましたか?



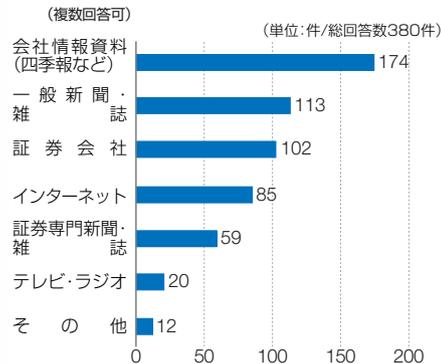
## 2 どのページに一番興味をもたれましたか?



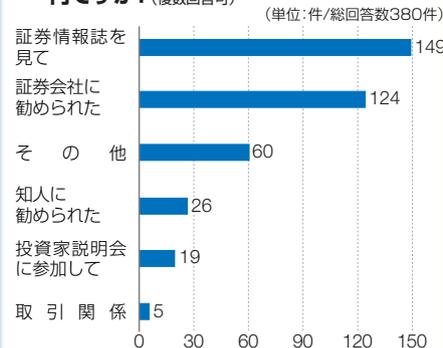
## 3 当社についてもっと知りたい情報は何ですか?



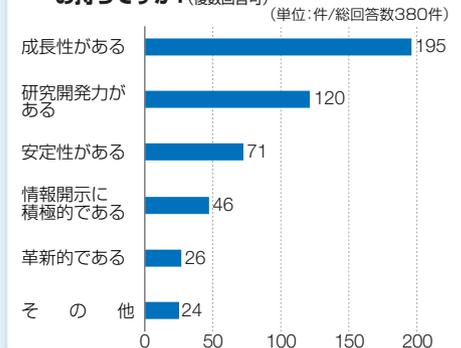
## 4 投資情報は何かから得られていますか?



## 5 当社の株式をご購入いただいた理由は何か?



## 6 当社に対してどのようなイメージをお持ちですか?



## 皆さまからいただいた質問にお答えします

### Q.経営理念について教えてください。

A. 当社は「フリー・フェア・グローバル」の基本理念のもと、顧客満足・株主満足・従業員満足の向上を高次元で実現し、永続的に企業価値を高めることを基本方針としています。

### Q.配当についての考え方を教えてください。

A. 当社は経営理念に則り、株主の皆さまへの利益還元を経営の重要政策と位置づけ、将来の事業展開と経営体質強化に必要な内部留保を確保しつつ、安定した

配当政策を継続することを配当の基本方針としています。

2007年3月期は単独で赤字決算となりましたが、基本方針通り創立40周年記念配当5円を含む、年間20円の配当とさせていただきます。また、2008年3月期の配当は16円(中間配当8円、期末8円)を予定しております。

### Q.株主優待制度について教えてください。

A. 現在のところ、株主優待制度の導入は予定しておりません。当社は、配当金によって株主の皆さまに報いる方針を採用しております。

# 主要連結財務諸表

## 連結貸借対照表

(単位:百万円)

資産の部 科目	前期	当期
	2006年 3月31日現在	2007年 3月31日現在
(資産の部)		
流動資産		
現金及び預金	835	1,179
① 受取手形及び売掛金	2,989	3,457
たな卸資産	1,218	1,285
その他	98	111
貸倒引当金	△39	△26
流動資産計	<b>5,103</b>	<b>6,007</b>
固定資産		
有形固定資産	5,745	5,714
無形固定資産	57	50
投資その他の資産	371	279
固定資産計	<b>6,174</b>	<b>6,044</b>
繰延資産計	—	<b>8</b>
資産合計	<b>11,277</b>	<b>12,060</b>

\* 百万円未満は切り捨て。

(単位:百万円)

負債及び純資産の部 科目	前期	当期
	2006年 3月31日現在	2007年 3月31日現在
(負債の部)		
流動負債		
買掛金	654	655
短期借入金	1,180	359
一年以内に返済予定の長期借入金	944	993
② 一年以内に償還予定の社債	20	2,020
未払法人税等	166	288
賞与引当金	116	120
その他	370	468
流動負債計	<b>3,452</b>	<b>4,905</b>
固定負債		
② 社債	2,050	30
長期借入金	820	690
退職給付引当金	49	20
固定負債計	<b>2,920</b>	<b>741</b>
負債合計	<b>6,372</b>	<b>5,646</b>
(純資産の部)		
資本金	860	1,429
資本剰余金	624	1,191
利益剰余金	3,429	3,757
為替換算調整勘定	△31	△28
その他	22	13
③ 少数株主持分	—	50
純資産合計	<b>4,904</b>	<b>6,413</b>
負債・純資産合計	<b>11,277</b>	<b>12,060</b>

\* 百万円未満は切り捨て。純資産の部は、前年資本の部と比較。

\* 当連結会計年度より、「貸借対照表の純資産の部の表示に関する会計基準」(企業会計基準第5号平成17年12月9日)及び「貸借対照表の純資産の部の表示に関する会計基準等の適用指針」(企業会計基準適用指針第8号平成17年12月9日)を適用しております。

## Check Point

- ① 売掛金の増加 VGターボチャージャー部品の売上高増加による。
- ② 社債について 2007年11月償還予定。
- ③ 少数株主持分の増加 合併会社 THAI SINTERED MESH CO.,LTD.設立による。
- ④ 売上原価の増加 VGターボチャージャー部品売上高増加にともなう材料費・外注加工費の増加。

## 連結損益計算書

(単位:百万円)

科目	前期	当期
	2005年4月1日から 2006年3月31日まで	2006年4月1日から 2007年3月31日まで
売上高	10,795	12,095
(4) 売上原価	8,297	9,286
売上総利益	2,498	2,808
販売費及び一般管理費	1,612	1,669
営業利益	885	1,139
営業外収益	29	21
営業外費用	112	114
経常利益	802	1,046
特別利益	16	12
特別損失	82	20
税金等調整前当期純利益	737	1,038
法人税、住民税及び事業税	384	468
法人税等調整額	△15	27
当期純利益	<b>369</b>	<b>543</b>

\* 百万円未満は切り捨て。

## 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

科目	前期	当期
	2005年4月1日から 2006年3月31日まで	2006年4月1日から 2007年3月31日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	398	799
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 840	△ 399
財務活動によるキャッシュ・フロー	424	45
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 7	△ 0
現金及び現金同等物の増減額(△減少額)	△ 24	444
現金及び現金同等物の期首残高	410	385
現金及び現金同等物の期末残高	385	829

\* 百万円未満は切り捨て。

## 連結株主資本等変動計算書

(単位:百万円)

	株主資本					評価・換算差額等			少数株主持分	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券 評価差額金	為替換算 調整勘定	評価・換算 差額等合計		
平成18年3月31日残高	<b>860</b>	<b>624</b>	<b>3,429</b>	△ 0	<b>4,913</b>	<b>23</b>	△ 31	△ 8	—	<b>4,904</b>
連結会計年度中の変動額										
新株の発行	568	567			1,136					1,136
剰余金の配当			△ 119		△ 119					△ 119
剰余金の配当(中間配当)			△ 90		△ 90					△ 90
役員賞与の支給			△ 5		△ 5					△ 5
当期純利益			543		543					543
株主資本以外の項目の連結会計年度中の変動額(純額)						△ 9	3	△ 5	50	44
連結会計年度中の変動額合計	<b>568</b>	<b>567</b>	<b>327</b>	—	<b>1,464</b>	<b>△ 9</b>	<b>3</b>	<b>△ 5</b>	<b>50</b>	<b>1,509</b>
平成19年3月31日残高	<b>1,429</b>	<b>1,191</b>	<b>3,757</b>	△ 0	<b>6,377</b>	<b>14</b>	△ 28	△ 14	<b>50</b>	<b>6,413</b>

\* 百万円未満は切り捨て。

## 会社概要

### ■ 会社概要 (2007年3月31日現在)

社 名 株式会社ニチダイ  
(英文表記) NICHIDAI CORPORATION  
証券コード 6467  
本社所在地 京都府京田辺市新北町田13  
創業年月日 1959年5月5日  
設立年月日 1967年5月1日  
資本金 14億2,900万円  
事業内容 精密金型の開発・製造・販売  
精密鍛造品およびその関連する成形品の  
開発・製造・販売  
各種ろ過装置および金属ろ過材料の  
開発・製造・販売  
各種焼結金属の開発・製造・販売  
精密部品の組立および開発・製造・販売  
従業員数 346名(連結)、297名(単独)

### ■ 主要な事業所 (2007年3月31日現在)

本 社 京都府京田辺市新北町田13  
宇治田原工場 京都府綴喜郡宇治田原町禅定寺塩谷14  
熊谷営業所 埼玉県熊谷市桜木町2丁目88番  
浜松営業所 浜松市中区高丘西1-10-20  
名古屋営業所 名古屋市千種区桜が丘295 第8オオタビル  
京都営業所 京都府綴喜郡宇治田原町禅定寺塩谷14  
岡山営業所 岡山県岡山市辰巳22-103 TCKビル

### ■ 役員 (2007年3月31日現在)

代表取締役社長 古屋元伸  
専務取締役 西村 謙 (NICHIDAI AMERICA CORPORATION 社長)  
常務取締役 藤本光洋  
取締役 瀬川秀実 (管理統括)  
取締役 島崎 定 (部品事業統括)  
取締役 畑中恵二 (金型事業統括)  
取締役 平岩益夫 (ニチダイフィルタ株式会社代表取締役社長  
兼 THAI SINTERED MESH CO., LTD. 社長)  
監査役(常勤) 萩野雅章  
監査役 小原正敏  
監査役 堤 昌彦

### ■ 関連会社 (2007年3月31日現在)

#### ニチダイフィルタ株式会社

京都府綴喜郡宇治田原町禅定寺塩谷14

#### NICHIDAI AMERICA CORPORATION

(Kentucky) 1030 Fortune Drive Richmond, KY 40475, USA  
(Ohio) 15630 E State Route 12 Unit 4, Findlay, OH, 45840-9743, USA

#### THAI SINTERED MESH CO.,LTD.

Saha Group Industrial Park, Tambol Pasak, Amphoe Meung,  
Lamphun 51000

# 株式情報

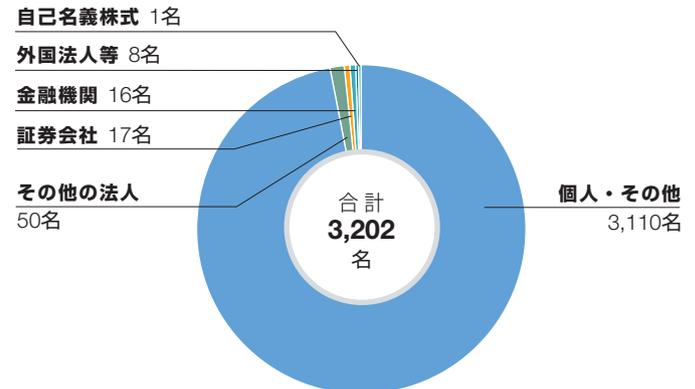
## 株式の状況 (2007年3月31日現在)

会社が発行する株式の総数	15,500,000株
発行済株式の総数	9,050,300株
1単元の株式数	100株
株主数	3,202名

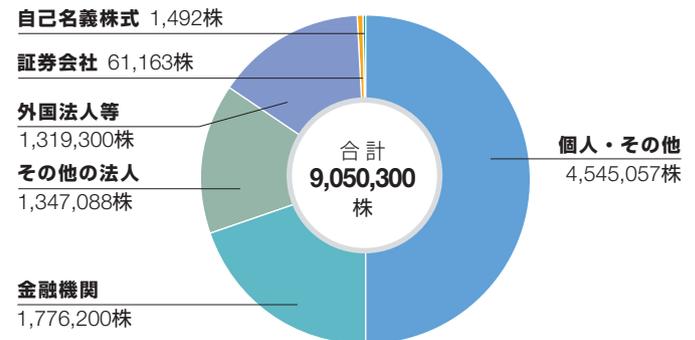
## 大株主

株主名	当社への出資状況	
	持株数	出資比率
有限会社ジャスト	885,600	9.78%
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	663,400	7.33%
田中善昭	572,092	6.32%
クレディットバンクエスエイルクセンブルジョワーズ シリウスファンドジャパンオパチュニティズサブファンド	500,000	5.52%
エイチエスピーシーバンクビーエルシーアカウント アトランティスジャパングロースファンド	475,000	5.24%
田中克尚	307,036	3.39%
ニチダイ従業員持株会	302,044	3.33%
株式会社三菱東京UFJ銀行	217,600	2.40%
大阪中小企業投資育成株式会社	174,000	1.92%
ノーザントラストカンパニーエイブイエフシーリ ノーザントラストガンジーアイリッシュクライアantz	170,000	1.87%

## 所有者別分布



## 所有者別株式数分布



## アンケートのお願い

当社では、株主の皆さまのご満足を追求し、今後も業績情報の開示の充実に努めてまいります。  
この株主通信に対するご感想、ご意見をお寄せください。  
つきましては同封のアンケートハガキにご記入いただき、ご投函頂きますようお願いいたします。  
今後とも、ご指導ご鞭撻よろしくお願い申し上げます。



## 株式会社 ニチダイ

NICHIDAI CORPORATION

本 社 TEL.(0774)62-3481(代)



URL <http://www.nichidai.jp/>

ニチダイへの理解を深めていただくために、  
ホームページをご活用ください。

## 野球部員が地元の少年野球チームに 技術指導を行いました

ニチダイ硬式野球部は2006年12月19日、地域貢献活動の一環として少年野球指導会を開催しました。地元の6チームに参加いただき、3チームごとに午前と午後に分けて2時間ずつ指導を行い、子供たちと交流を深めました。

創部10周年を迎えた硬式野球部は、都市対抗野球大会に初出場した昨年の経験を活かし、これから地元の皆さまと触れ合いながら一層精進していきます。



## 株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで

基準日 期末 3月31日  
中間 9月30日

株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号  
三菱UFJ信託銀行株式会社

同事務取扱場所 〒530-0004 大阪市北区堂島浜一丁目1番5号  
(お問い合わせ先) 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部  
電話0120-094-777(通話料無料)

同 取 次 所 三菱UFJ信託銀行株式会社 全国本支店  
公 告 方 法 電子公告  
当社ホームページ(<http://www.nichidai.jp/>)  
にて掲載

単 元 株 式 数 100株

○なお、株式関係のお手続き用紙のご請求は、以下の三菱UFJ信託銀行の  
電話およびインターネットでも24時間承っております。

電話(フリーダイヤル) 0120-244-479(本店証券代行部)  
0120-684-479(大阪証券代行部)

インターネットホームページ <http://www.tr.mufg.jp/daikou/>

## 見通しに関する注意事項

当報告書の記載内容のうち、歴史的事実ではないものは将来に関する見  
通し及び計画に基づいた将来予測です。

これらの将来予測には、リスクや不確定な要素などの要因が含まれてお  
り、実際の成果や業績などは記載の見通しとは異なる場合がございます。